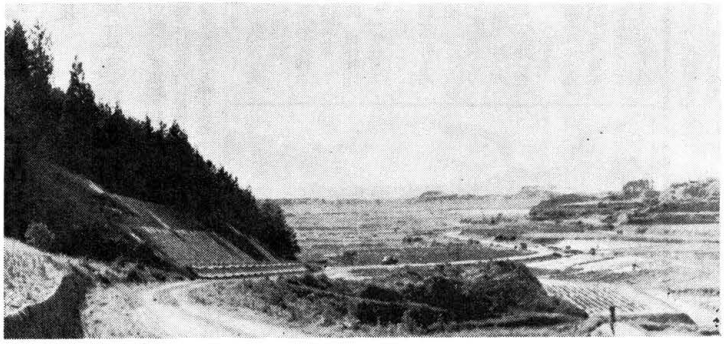
宗像

毎月一日発行
発行所
宗像大社
福岡県宗像郡玄海町
電話 神湊26番
定価一年 送料共500円

道程

ぼくの前に道はない
ぼくの後しろに道はできる
あゝ自然よ
父よ
ぼくをひとり立ちさせた
広大な父よ
ぼくより目を離さないで
守ることをせよ
常に父の気魄を
ぼくに満たせよ
この遠い道程のため
この遠い道程のため

―高村光太郎詩集より―



論説 祝日法改正案について

祝日法改正案は、現行の「国民の祝日に関する法律」第二条にきめられた国民の祝日に、新たに「建国記念日」（政府原案二月十一日）「敬老の日」（九月十五日）「体育の日」（十月十日）の三祝日を加えるというものであるが、問題の論点は建国記念日にある。

本件については、たしか一九五七年いらい、議員提出法案として出されたのが七回、昨年は政府提案として出されたから、今回で九度めである。しかし内容があると思われる審議が行なわれたのが初めの二回だけで、他は政党かけひきの道具として使われ、たなざらしのまま廃案となっていた。

しかし「建国の日」の制定をめぐって、全国で七百余もの団体が大きく活動を始めた今日、これらの人々の働きにより国民感情が強く大きいことを政府は知ったのであろう。年々この時期になると、政府与野党の動きは活発になり、マスコミの話題を呼んでいる。

ここで三党が提案している建国記念日を考えてみよう。

○S党は政策審議会で「五月三日」の憲法記念日が適当であると、党の正式態度を決めた。これは「建国の日」を要望する国民感情の無視しがたいことをみとめ、F党との対抗手段として考えたものであろう。しかし憲法記念日を祝うことはいいが、それと建国記念日とは全く意味が異る。古い日本の建国史を、ことさらに歴史の新しい印象のものに変貌させようとするもので、決して国民感情を満足させるものではない。これはただ神武天皇の即位日をさけたいあまりに、無理にこじつけた偶論にすぎないと思う。

○P党は「四月三日」の聖徳太子十七条憲法制定日を党の意見として提出している。たしかに聖徳太子の歴史は古く、すこぶる有能なお方であった事は事実である。しかし太子は推古天皇の摂政であり、皇位にもついておられない。日本人は国家生活を初めた古代から、つねに天皇を仰いで歴史を創造して来た国民である。それにもかかわらず初代の神武天皇をさけて、あれこれの思いつきをすることは、皇朝史に対する国民敬愛の情をことさらにみだすものであり論外の沙汰である。

○F党は「二月十一日」旧紀元節を強硬に成立させようとしている。F党の主張は理解出来るが、方法手段については大きな問題がある。成立させようとするならば、まず国民のだれもが納得出来る理由を国民の前に提示しなければならない。建国記念日を決定することは国民の歴史意識、国民の教育、国家の方針に深く関係する問題である。現代の日本国民が、国家の起源をどう意義づけているのか、また民族の歴史はいかにあるべきか、それを問われているのが問題の核心であり、国民の国家意識に関る事柄なのである。

国民の祝祭日は単なる休日ではなく、国民がそって心から祝う日でなければ意味がない。したがって、国会が満場一致で通過することが、もっとも望ましい姿であり、政治家は利害対立をのりこえて、おだやかに審議すべきであろう。

―――――

ここで一度過去を回想してみよう。昭和二十年八月十五日、我々は血涙をのんで終戦を迎えた。その直後、米国軍隊の駐留と共に、GHQの指示により、旧来の紀元節に一連する祝日はすべて抹消された。おそらく当時の国民感情として敢戦民族だからやむを得ないという、あきらめがこれを黙認させたであろう。おそらく全国民の殆んどが同じ気持であったと推察する。それが二十年後の今日、怒号や罵声を飛ばして、二月十一日の建国記念日制定は逆コースだ、戦争放棄への挑戦だ、軍国主義だ、と色々の理窟をつけて反対するのは理解に苦しむものである。

誰でも日本人である以上、日本神話の意義を充分認めており、日本民族の歴史の古さには大きな誇りを持っている。また、古代の歴史が不明確であっても、その価値が減殺されるものではなく、むしろ不明確であることが、民族の歴史の古さを示す匹敵であるとうち考えられる。歴史学者の一部には二月十一日は科学的な根拠がないと反対する意見もあるが、古い太古の事蹟は明確に証明出来ないのは当然であり、それよりも肝心なことは、歴史の歩みをしのぶことであり、その歴史の中から民族としての誇りと喜びをみつけだすことである。

建国記念日を設けることは、「建国をしのび、祖国を愛する人々を育てる」ことにあるわけで、単なる祝日増加に終らぬ様国民共々努力すべきではなかろうか。

夏越の祭り近づく

恒例の夏越の祭りが来る七月三十一日から三日間に亘って盛大に斎行される。

三十一日は当社にとって由緒深い大祓い、人形祓いが行われる。

今から壱千五百年余り前、当社沖津宮に奉献された祭祀品にこの信仰を見出す事が出来る。

特に石製人形、船形、馬形等は古代の人々が安全と繁栄の祈りをこめて神に捧げたもので、現在当社宝物館に収蔵されている。

この人形祓いの信仰は今も連綿として続けられている。

七月初旬、全国の崇敬者各位に赤白二体の紙製人形が郵送されるこの人形（男は白、女は赤の方）に各自の名前を記し、息を吹きかけ枕の下に敷いて一夜経た後、当社に返送して頂く。返送された人形は、七月三十一日夕刻大祓神事斎行後玄海へ流される。

三十一日夕刻、楼門には緑の茅の輪がしつらえられる。定刻、全職員が堵列し、権宮司が朗々と大祓詞を奉読する。次に祓いの神事が行われる。この後古歌を奉唱しながら茅の輪くぐりの儀が参列者全員によって行われる。この神事が終ると半年の罪穢れを集めて人形は流されるのである。

夏越の祭りは、季節の変り目に身を清め、心を新にする神事であり、当社の人形は其の変り目を知らせる生活歴ともなっている。

「人形をいただいて、もう半年が過ぎた事を知り、月日立つの早きに驚いています。私はこの人形に今迄犯した罪業をこめて、大社にお送りしています。私は自分でお祓いが出来るこの方法を有難く思っております。そして、すがすがしい気持で商売に励む事にしています。どうぞ宜しくお願いします」

当社を崇敬する大阪のAさんのお便りである。

尚八月一日、二日は交通安全祈願祭が斎行される。

神具、装束
結婚式場用品
株式会社 井筒
福岡支社 福岡市吉塚西林寺町
電話 ㊺九四五六
本社 京都市下京区油小路通六条北入
電話 京都 ㊺六六二三番 七三七・九七九九番

第十一回宗像大社中津宮 七夕揮毫大会要項

一、応募資格
小学校児童
中学校生徒

一、課題
小学校
一年 つゆ
二年 おりひめ
三年 ぎんの星
四年 山上の星
五年 七夕祭り
六年 輝く星空
中学校
一年 静夜流星（楷書）
二年 銀河夜空（行書）
三年 星空観察（行書）

一、規定
①字数行数は随意
②和半紙（普通型）を縦に使用（規格半紙は不可）
③学年氏名を自書のこと
④校名は代筆又は校印にて可。

一、予選締切七月五日（火曜日）
一、展示宗像郡大島村宗像大社中津宮揮毫会場
一、予選審査七月八日（金曜日）
小学校一、二、三各学年（六〇名）
小学校四、五、六各学年（一〇名）
中学校一、二、三各学年（六〇名）
◎入選者は即日学校宛通知します。
一、席上揮毫 七月三十一日（木曜日）

一、審査 当日中津宮において厳正審査の上発表します。
◎受付時刻、開始時刻、便船の発着時刻等は入選通知と同時に通知します。
◎賞規定
小学校一、二、三年 特選一名 金賞三名 銀賞五名 銅賞七名 秀逸二五名
小学校四、五、六年 特選一名 金賞四名 銀賞七名 銅賞一〇名 秀逸三五名
中学校一、二、三年 特選一名 金賞二名 銀賞三名 銅賞五名 秀逸二〇名
※各学年を通じ最優秀賞として小学生一名中学生一名に宗像大社宮司賞を贈ります。
※各学年の特選者には夕刊フクニチ賞、尚文堂賞、福岡書道会賞が贈られます。
※金、銀、銅賞には中津宮賞、秀逸、佳作には賞状を授与します。
一、表彰式 当日午後四時から中津宮社前にて行います。
一、審査員
古賀啓水先生（筑紫女学園）
坂口雅風先生（福岡女子高校）
城戸筑山先生（筑紫ケ丘高校）
主催 宗像大社中津宮
夕刊フクニチ新聞社

阿蒙少言

木彫家として現代最高の地位にある平櫛田中翁は、本年九十四歳になるが、その長い経歴が次のような所感を述べさせている「この頃の彫刻家は作品がみんな器量よしで、仕事がうまさる。いやになる。彫刻というのは、そこに自然にものがあるということだ。不自然にみえるものは彫刻ではない。彫刻はうまくなってはいけない」と。この老大家の言葉は、彫刻界に限らず現代文化一般の批判としても、あてはまるのではなかろうか。理窟がまず最初にあって、そのあとを作品が追いかけてゆく傾向は、単に芸術面だけでない。味わい深し、老大家の至言○或る事情である会社の寮に起居数日。隣室に地方勤務の社員が本社の重要事務臨時の応援のために同じく起居。連続十日間くらい深夜まで残業して、時には夜中二時頃寮に帰り、毎朝七時に起きて出かける。日曜の朝も同様だった。聞けば新婚間もない若い人で、残業手当など皆無のこの会社に、働くことに喜びを感じているかに受けとれる態度。会社に惚れ仕事に情熱を傾注する男ぶり、何も言うことなし○子女を大切に教育して良き社会として世に送り出すことが、母性最大の仕事であること説くまでもない。この頃やかましく呼びかられる働く母性のために、托児所保育園を充実せよとの問題。その設備改善よりもカギッ子を作らぬために、母性を家庭に帰す政治の頭の改善が先決問題○小学生の質問「桃太郎は何も悪いことをしない鬼たちをナゼ征伐したのですか、鬼たちの宝物をナゼ取ってよいのですか」高校生の答弁「桃太郎は非行少年だ」明治大正生れが、幼き日憧れた桃ちゃんも、現代っ子にとっては永遠の優等生ではなかった。

（白雲）

暑中御見舞申し上げます

日立製作所
九州営業所
福岡市天神2丁目12番1号（天神ビル）
電話 福岡（74）5831（大代）

出光
APOLLO
福岡市大名2丁目8番26号
出光興産株式会社福岡支店
取締役支店長 江崎浩正

女性だからと言って特に甘い点数を差上げる気はないが、会社の起業祭を終えて、直入画伯の逸品山水の屏風の前に端坐する女史は「女史夫」の名に値するものを感じさせた。

床の間の祭壇には、宗像大神を始め平素信仰する神仏が祀ってあり、今年は紀元節復活の機運が動いている故か、懸け軸は神武天皇の肖像。庭隅には稲荷大神の小祠があって、緑の風に正一位の幟が揺れている。肥満型ではあるが、健康そうに見える女史は、嬉しさをたゝえた明るい声で語る。

栗組は実家の姓をとった社名で、運送業の創立は五十二年前に遡る。戦時中実家の父君の要望で、旭硝子牧山工場に関与して二十三年になり、その間社長に就任して現在二百名のトラック従業員を陣頭指揮。親会社旭硝子の信頼にあるのだろうか。即ち、厳格と愛情の社風を確立し、気の荒くなりがちな若者達を一糸乱れず統率する運営ぶりは、如何なる指導によるのだろうか。その源泉をなすものを求めて、対談の眼目に触れてみた。まさに捜索である。

果せるかな、幼少から培った敬神崇祖の信条、「厳にして優」の庭訓を護持する生活態度。信仰に生きる笑顔、それが自然に発動して一日を楽しく働く。その説明は出来ないとのこと。勿論酒食に溺れ遊山行楽に耽る気持も起らず、地味な生活なら床に安置する寿老人と共に歩む信念の実践に、難しい理窟などあろう筈はない。

毎朝七時に会社に出勤、八時半で、直感のまてやりました。最後の二年は都屋を避けて、赤間に買った千坪の土地に厩を建て飼養人を付けて、一日二回は様子を電話で連絡させ、週に二度は出かけて見舞う習慣で語る女史の情味深い愛称である。

――三月十日がこの会社の起業した。喜ばしげに尾を振って、近よって来る姿は今ぎのヘッライではなく、直感のまにく断じて憎らゆ判定である。

女史は一頭の老馬を飼っていた。「お馬ちゃん」これが愛馬を語る女史の目は、肉親を追慕しているかに見える。令息が「母は何のこだわりもなく、手放して喜びや悲しみを表現しますが、真似も忘れられません」と述べる。率れ尽せりの馬への思いやりは、「厳にして優」の徹底した一面でもあった。

死せる孔明生ける仲達を走らすは、少々大げさな言葉になるが、死んだ馬は今もなお生けるが如く、女史の事業精励を守護し、鞭撻し、日常の反省と感謝を、暗示しているのだろう。この愛馬物語は早朝から赤間に出かけ、山荘で一日を過す習慣が出来ました。その為に神詣では、平日の作業の合い間です――

語る女史の目は、肉親を追慕しているかに見える。令息が「母は翁がかなられぬ不自由は、女史の好意で解消、寒さに倒れる老人の出来ない楽しいことです」と述べる。率れ尽せりの馬への思いやり。

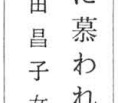
優しいが厳しく、決して弱い女性でない女流社長、健在なれと祈る要もないほど、信仰に生きる生活が身についている。

×　×

宗像談話室

老馬に慕われた女流社長

――柴田昌子女史訪問記――



整備される沖ノ島港

――昭和四十一年度漁港修築工事現地打合会――

去る六月三日、本年度沖ノ島漁港修築工事現地打合せの為、福岡県水産部施設課関係者、並に社会教育課員、大島村長、大島漁業協同組合長、沖ノ島出漁仲間大船頭、沖ノ島工事施行業者、及び当社転員がこれに同行渡島した。

当日は数日来の風も殆ど凪ぎ、曇天の空模様で途中大小五、六十隻からなる高脚釣の船団、又飛魚の群とも遭遇した。

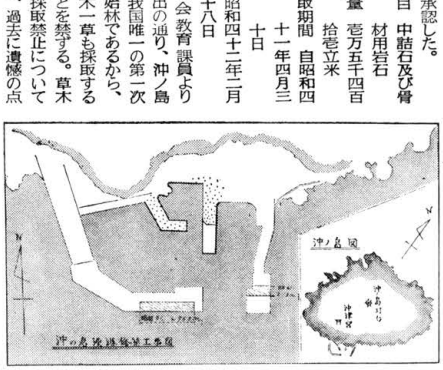
この工事は沖ノ島の南側、旧波止を中に抱く形で、東堤防の全長は三三六米、西堤防の全長は三三〇余米の予定である。

昭和二十六年より十七年間、国家予算を以て県が施工、監督を代行し、全工事の約八分通りが完成したが、此の間に台風等によって崩壊個所を生じ、工事は災害復旧と合せ行い、容易にはかどらない上陸参拝の後、先ず現地の調査は海上と陸地とに分け行い協議の結果左の事項を遵守する事を条件として承認した。

一、品目　中詰石及び骨材用岩石
一、数量　壱万五千四百拾壱立米
一、採取期間　自昭和四十一年四月三十日
至昭和四十二年二月二十八日
一、社会教育課員より申出の通り、沖ノ島は我国唯一の第二次原始林であるから、一木一草も採取することを禁ずる。草木の採取禁止については、過去に遺憾の点が多々あったので厳に注意せられたい。
一、沖ノ島は全島が神島であるため、信仰上の神聖護持について特に留意すること。
一、採石する海中転石は、漁業に関係あるものについては漁業者とその部度協議し、当社にも通報の事。
一、災害の皆無を期して安全採業をせられたい、これは工事者側及び漁民側にも要望する。

沖ノ島は全島御神体として又天然記念物に指定せられている性格上、採石について疑義の点はあるが、関係漁民の避難港利用を考慮し、被害を最少限度に止める事を条件にして、神社側は了解した。

（下図は四十年度及び四十一年度の石材採取表）



昭和40年度　沖ノ島漁港　石材採取員数調表

事業名	工種	工事長	中詰石捨	コンクリート用骨材	備考
修築事業	東波防堤	12m	6.281 m³	1.587 m³	中詰石：海岸採取 骨材：山地採取
〃	〃補強	16m	—	331 m³	
災害復旧工事	西波防堤	70m	4.783 m³	2.049 m³	
小計			11.064 m³	3.967 m³	
総計			15.031 m³		

昭和41年度　石材採取員数調表

事業名	工種	工事長	中詰石捨	コンクリート用骨材	備考
修築事業	東波防堤	13m	7.508 m³	2.667 m³	中詰石：海岸採取 骨材：山地採取
災害復旧工事	西波防堤	76 5m	3.608 m³	1.628 m³	
小計			11.116 m³	4.295 m³	
総計			15.411 m³		

宝物館

わかり易い案内書に改訂

宝物館も昨年一般に公開して以来一年目を迎えたが、先月中旬より本殿にて祈願を受けられる方々に無料拝観券をさしあげることになった。その為拝観者が急増するので、案内解説書も増刷することになり、これを機会に内容も大きく改訂された。

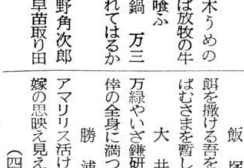
今度のデザインは表紙に宝物館会員の大きな写真が入り、墨書にて「宗像大社宝物館」と久保宮司の揮毫によるタイトルが掲げられている。

また内容も従来のものより詳細多岐にわたり文章も一段と平易になっている。まず宝物館の概説が述べられ、次にはこの宝物館の主要をなす沖ノ島神宝の祭祀と意義が大きく取扱われている。それに続いて展観の順を追って陳列品の解説がなされているので、宝物拝観に非常に便利になった。

特に内容の写真も鮮明で、国宝沖ノ島神宝の代表的な品々を始め、重文色定法師の一切経、阿弥陀経石、宗像狛犬など、重要なものはすべて掲載してある。

尚この栞の他に宝物館では、写真帖一冊二百円、沖ノ島、続沖ノ島報告書各々七千円、宗像神社史五千円、で配布しているので、入用の方は宗像大社文化出版管理事務局まで申出られたい。

尚、次週日、金曜日が休館日となっていたが、拝観者が多い為、休館日が廃止され、開館時間も午前九時より、午後四時迄と変更された。



七月のまつり

七月一日　月次祭　午前十時

七月十五日　祇園祭　午前十一時

七月十五日の前夜に行われる夏祭で、疫病や天災が起らないように鎮める祭である。

これは京都の八坂神社を中心に中世以降各地に急速に伝わり、いろくの型の祇園祭りが行われている。

当社では夏の盛りの農作物に風雨鳥虫害のないように、亦悪病や天災が流行しないように、境内に祭られている末社、須賀神社――祇園の神――で祭りを斎行している。

七月三十一日　夏越祭　午後五時

〝みなづきはらえ〟ともいう。

陰暦の六月晦日に行う大祓のこと。

一年を二回に分けて、その前半期の最後の晦日に罪けがれを祓う行事である。この夏越祭は各地によって、いろく違った行事が行われているが、当社では、古歌「水無月の夏越の祓する人は千とせの命延ぶというなり」を奉唱して茅ノ輪をくぐり、合わせて郡内、全国から集められた人形（ひとがた）を祓って祈願者の安全と幸福を祈る大祓式を執行する。

七月の交通訓

○ハンドルは心で握れ　目で握れ

社務日誌抄

六月一日　月次祭

二日　葦津権宮司外五転員二名、福岡文化会館に於ける日本原始美術展に出向。

八日　福岡県警本部白水航分駐所落成式斎行、久保宮司外二転員奉仕す。

森口襄鶏場落成式行われる、斎藤権祢宜、山田出仕奉仕す。

一三日　福岡県護国神社平川宮司他二名来社。

一四日　久保宮司、太田権祢宜宗像誌取材の為、戸畑、栗組社長を訪問。

一五日　月次祭斎行。

神湊、みなと荘岩風呂完成落成式、宮司外一名出席す。

一六日　久保宮司以下全員奉仕。

一七日　久保宮司、宗像神社史五千円、で配布しているので、入用の方は宗像大社文化出版管理事務局まで申出られたい。

一八日　宗像大社献詠歌会詠草到着順

宗像大社御用　綜合印刷
有限会社　大和印刷所
宗像郡宗像町東郷　電話　宗像局2027　有線277－1番

第六十二回　宗像大社献詠歌会詠草

六月五日　於社務所詠草到着順

（寄橡樹懐旧）　香椎織田橡雨

つるばみの神木の若葉仰ぎ見て我が老らくに昔しのばゆ

（猪野神宮に詣でて）　大濠江崎琴子

床に活けしあの捕木せる紅柏芽ふきてつゝれ紅き若葉の

厚狭篠田南洞

運の葉のひとえ陽を盛る昼下り野良人だるけ稲田をめぐる

宗像石松やす子

夕暮の社頭に落葉掃き居れば仔犬は喜びて境内駆廻る

福岡高橋老生

競ふこと進歩の母と言へれども二つに割れん国の行末

村山田吉田佐市郎

老いの身の保養によなき温泉に今年も行かん友はなきとて

宗像井上陽之助

五月雨やくれゆくいぬ路しづけきにけぶり勝なるふるさとの空

福岡吉田信夫

スーパーの棚に見出でしかんろ芋のあゝふるさとの遠き日の味

門司永島まち

（孫の結婚式の日に）

送られし重ね扇の一鉢を床にかざりてけふを祝える

南郷片山一

山峡の駅のホームは特急の風圧過ぎて肉の焼ける香

勝浦永島桂翁

（孝子正助像を見て）

父を背に負ひたる君がお姿を孝といふ文字其のまゝに見る

遠賀長畑房江

此処に来て二度目の春を雲雀きかずけさは放送の雲雀きこゆる

宗像小野花居

教へ子の白髪ならべ師を囲み集ふ座敷の幾星霜

吉留白木うめ

雨一日降りつづきたれば放牧の牛等暮るゝまで立ちて草喰ふ

陵厳寺真鍋万三

松枝に二羽の親鶴憩はれてはるかに翔くる雛鶴の声

田熊小野角次郎

慈雨一過村を挙げての早苗取り田植の唄の山に木霊す

南国の旅の土産のなつめ郷子うまきかなうまし人毎に分つ　東郷藤崎辰子

苗代の種蒔き終りこの夕明日は茶摘をせむと語ふ　大井村山幸生

美くしき緋鯉を孫が掬ひ来て清よき水年すとんくりの池　福間森八蔵

しんらんの誕生祝つ藤まつり空手柔道も式順に組まる　コロラド浦野薫

酸素吸入こうこと鳴り死ぬるやもわからぬ苦子を夜をこめて看る　門司永島哲夫

幼き日馴染みし絵本の鬼の色褪びて夫とゆで粥を噛む　勝浦永島文子

充されぬ思ひに一人籠る部屋今朝挿しかへし薔薇匂ひくる　武丸立石ろせの

軍医に大陸馳せしがんこな夫自動車よりも馬を欲しがり　戸畑田中ハツセ

突如とし逝りたる血管の止血をすれば筋膜白し　〃田中桂一

大鳴門潮みちくれば潟潮のたぎり流れて祭れるごとし　津屋崎麦野時雄

送られし重ね扇の一鉢を床にかざりてけふを祝える　武丸立石昇

空につゞく緑の広野に降り立ちて清き空気を深々と吸ふ　名残立原圓

（山なみハイウェーにて）

細々と春の雨降る裏山に夕べはげしくコジュケイの鳴く　戸畑伊規須ゆき

（孝子正助像を見て）

父を背に負ひたる君がお姿を孝といふ文字其のまゝに見る　遠賀長畑房江

此処に来て二度目の春を雲雀きかずけさは放送の雲雀きこゆる　吉田占部由久

教へ子の白髪ならべ師を囲み集ふ座敷の幾星霜　宗像小野花居

雨一日降りつづきたれば放牧の牛等暮るゝまで立ちて草喰ふ　吉留白木うめ

松枝に二羽の親鶴憩はれてはるかに翔くる雛鶴の声　陵厳寺真鍋万三

慈雨一過村を挙げての早苗取り田植の唄の山に木霊す　田熊小野角次郎

暑中御見舞申し上げます

福岡銀行　宗像支店　宗像支店長　本村誠助　電話　宗像　2017.2214.2721番

西日本相互銀行　福間支店　福間支店長　東郷義明　電話　福間　65.175番

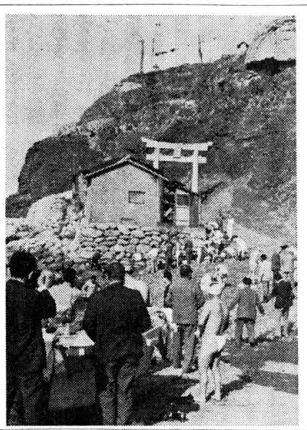
福岡相互銀行　古賀支店　古賀支店長　速見収　電話　古賀　3636～38番

沖津宮現地大祭終る

〝天気晴朗にして海上平穏　絶好の渡拝日和に恵まれ〟

沖の島鎮座の沖津宮現地大祭は去る五月二十七日無事終了した。沖の島沖合いで行われた日本海々戦の日をトして、年に一度執り行われる本大祭は、名にしおう玄海の荒海にへだてられた孤島での祭典であり、その無事遂行は一に天候の良否にかかっている。加えて五月の海は時化やすく、昨年も前日よりの悪天候のため遂に中止のやむなきに至った。本年も二十日過ぎから海上時化続きで渡島が案じられたが、前日になって急に風もおさまり天候も回復してその心配も杞憂に終った。

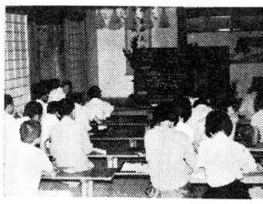
五月二十六日、大島中津宮には参拝団の人達が参集した。総勢百余名。今年は地元玄海中学校から江口校長以下二十名の先生達と、宗像郡青年会議所から十名と、例年に比し、青壮年の人達の参加がめだって多かった。午后七時、中津宮拝殿に於て「出港奉告祭」斎行。祭典後、久保宮司より「往時の沖津宮参拝は今日とは比較にならぬ極めて困難な悪条件の中で行われたものであり、幾多の危険と困苦欠乏に耐えて、文字通り命をかけての参拝であった。こうした先人の尊い信仰の真姿を、現地上をわたる五月の風が心地よく頬を撫で、雲一つなく、海は凪き渡り、身を以て体得さ



れ、更には日本古来の民族信仰の真髄にも触れていただきたい」旨の挨拶があり、係員より乗船の注意、上陸後の〝掟〟について説明があって散会した。人々は参籠殿をはじめ、旅館、民家にそれぞれ分宿し、静かに渡島の前夜を過ごした。

二十七日未明、一同波止場に参集、点呼の後、大島渡海船丼天丸に乗り込み、沖合いに碇泊する巡視船「よしの」に移乗した。午前五時、大島出航、初夏とはいえ早朝の洋とは肌寒い。然し、日が昇ときこの沖ノ島の最高峰一ノ岳の山頂より、島の西北二、三海里の海上で展開される日本海々戦をまのあたりに見たあの日であり、かってNHK「私の秘密」にも出て全国に紹介された大海戦目撃の唯一人の生存者であるが、七十七才の今尚かくしゃくとして一人黙々と神明奉仕の日々を送っている老神職である。港内には大島の漁船が数隻、大漁旗を飾って碇泊し、今日の大祭にと鯛、鯛等心尽しの海の幸が献ぜられた。

上陸後、海浜で直ちに全員「海水禊」を行う。五月の海はまだ冷いが、全員元気に海中に入る。特に中風のため手足の不自由な一老人が、なんのためらいもなく衣を脱ぎ一心に禊をされている姿が胸を打つ。禊を終り心身を清めて御



ぶ。

波止場には沖津宮奉仕の佐藤神官が出迎える。この人は、十六才の山頂より、島の西北二、三海里の海上で展開される日本海々戦をまのあたりに見たあの日であり、かって「天気晴朗にして波静かな」絶好の日和となった。大島を出て一時間半、往手に沖の島がその全容を現わす。初参加の人達は始めて見る神島の姿に身をのり出して見入っている。小屋島を過ぎ船は静かに沖合いに錨を下ろした。所要時間二時間十分。先着の大島漁協専用船「おきのしまま丸」が「よしの」に接舷、全員を沖の島波止場に運び、直ちに社殿に向う。急坂の石段を登り、やがて山腹、巨岩にはさまれて木洩れ陽に新らしい銅板葺きの御屋根が輝いてみえる。千古斧を入れぬ原始林に囲まれ、鳥の鳴声がしじまを破り、森厳の気があたりをはらう。八時三十分、祭典開始。修祓、献饌の後、国家の弥栄、海上の安全を祈念して久保宮司の祝詞が奏上され、続いて沖中両宮奉賛会長河辺嘉十郎氏、参拝者代表吉武氏子会長の玉串奉奠、これに和して参列者一同の拍手の音が神域に響き渡る。

祭典は滞りなく終了した。その後は神坂の案内で灯台見学に登る者、島内を逍遥する者、或は巌頭に立って玄海の大海原をのぞみ過ぎにし大海戦の状を偲ぶ者、思い思いにくつろぎの刻を過した。

予定を早めて正午、再び「よしの」に乗船し帰途につく。往路にもまして海は凪き、一路平安、船足も軽く二時過ぎ大島に帰着。互いに無事な参拝を喜び合い、労をねぎらい合って波止場に於て解散した。

古くから大島の漁師の人達は、玄海の海が凪き、晴天無風の日を「今日は沖の島様の御機嫌が良うこざらっしゃるは…」と言って喜ぶ。近年にが本大祭は天候に恵まれた日はなかった。御神威、御霊納のたまものというべきであろう。

本大祭に御協力頂いた海上保安庁当局をはじめ関係者の方々、また規律正しく行動して下さった参拝者の皆様に衷心より御礼申上げます。

沖ノ島便り

正三位社の社頭に立ち　夕陽を拝みて

朝に晴天を拝し、夕べには落日を拝むのを日課として居る。晴々とした好天の日暮に正三位社の巌頭に立って落日の夕陽を拝する時、海洋に没せんとする陽光のキラメキが眼を射る。屋間の輝きは何とも言い尽せぬ偉大な光景である。

沈み行く夕陽きらめき光るさま　吾を忘れて暫したゝずむ

きらめきを消して落ちゆく日影　駄句が浮ぶ

文に詠みたしこの輝きを

この沖ノ島に奉仕させて戴いて居ればこの島の聖観を拝することが得られるのだと気付くと感謝の念が湧き起る。一望ち里の大海も鳥も通わぬ玄海洋今日は鏡の如く静かである。遠くなつかしい故郷の島々、山々、北九州の連山を眺め下関海峡から山口島根の、山々、眼を南に転ずれば玄海小呂の小島、西に眼を向ければ壱岐対馬の島々が点在する。

この大海原を地上として、視界にある島々を奏山とし、これが吾輩の庭園、偉大なる敢とほゝ笑む。数千億の大富豪と雖もこの雄大な池を眺むることが出来ようか。

時には旋風狂って狂怒荐山をなし、岸打荒波のすさまじい響は耳をつんざく。多数の漁船がエンジンの音響かせ競って漁場へ急ぐ勇しい光影を居ながらに展望する。

神代の昔から鎮座まします沖津宮の常駐の神職なればこその感慨も一入である。島は全島神領、開闢以来斧鉄を入れぬ原始林で天然記念林に指定されている。巨木彩樹奇草多くウグイスやホトトギス、目白、山鳥は殊に多く囀声に慰められ、夏の夜は海の猪鳥が野山の夜を賑かす。山に椿、アオキ等種々花木あり、野菊の花数多く四季に人目を喜ばしている。

人工の業ならぬ天工の恵の偉大なる美観を楽しみつゝ一酸化炭素も亜硫酸瓦斯もない美しい清々しい空気を十二分に吸収し、元気は益々旺盛であり、明暦徒に奉仕させて戴くことを心の底から感謝して居る次第である。

（佐藤記）

× ×

宗像伝説　其の六十二

池田炭鉱の今昔

池野の歴史は近代日本の歩みを物語ってくれる。

嘉永六年六月三日、此の日は日本にとっても亦池野にとっても永く記憶される日となった。ペリーの率いる四隻のアメリカ艦隊は、この日、大西洋、インド洋を経て香港、沖縄を訪れた后、浦賀沖にその姿を現したのである。これにより徳川三〇〇年の太平の夢は一挙に破られ、いたく朝野を震撼させた。これを迎えた幕府側としても、アメリカ艦隊と交戦するだけの準備も自信もなかった。結局浦賀においてアメリカ国書を受け取りペリーは日本側の回答を翌年に約して一たん退去した。七月にはロシア使節プーチャーチンもまた長崎に来航して開国を要求した。ここに幕府が祖法として堅持した鎖国政策は外圧によってついに破られた。このため全国の諸藩はそして武備の強化に狂奔した。

西国の雄藩福岡藩主黒田長縄も直ちに軍制改革、造船、鋳砲に意を用いたが藩財政は著しく窮乏し、その財源の捻出に困却した。租税は一揆の起きる危険指数まで引き上げられた。藩の勘定方は、寝食を忘れて金策に駆け廻り、亦領内の凡ての鉱山を隈なく調査した。この時、宗像郡池野村庄屋よりもたらされた報告は藩の重役を狂喜させた。

黒田の説に、此村及び田野上八二村の鉱山ある事、近世に起るこあらず、七百年前平家の遺臣等、此地に潜匿して初め砂金を掘得たり、銅多からずして幾ばくなく其事止たり」と報告書にもある通り、藩庁にも銅の出産地として少しは知れていたが砂金が出るとは予想もされていなかった。すぐさま金座の役人が現地に赴いた、砂金は池野村の北十町程にある依岳の麓の釣山と云う部落から出ていた。三カ月程試掘をしたところ少量ではあるが良質の金が採れる。そこで黒田藩は安政元年二月大規模な採金に乗り出した。以后明治二年まで約十五年間にわたって金脈は凡て掘り尽された。この幕末にかける池野産の金は、藩老加藤司書によって幕府に平野国臣、野村望東尼等の藩中の勤王の志士に送られ彼らの有力な資金源になったと伝えられる。

池野金鉱の末期、金鉱を掘穿している鉱夫等は、或る日、黒い鉱脈につきあたった。当時は〝燃える石〟ほどの認識しかもたれなかった石炭である。そのため炭鉱主見島太一によって本格的に採炭される大正六年までの間はこの巨大な地下資源は眠ったままになっていた。その后池野炭坑は昭和二年見島翁の手から太原孝次郎氏に移り、満州事変、日華事変太平洋戦争と石炭の需要は極度に上昇し一躍時の脚光をうける事になった。この炭鉱の特徴は国内では珍らしい露天掘を有することで、一千名あまりの従業員が掘り出す石炭は年間採炭量一千万余屯といわれていた。

七ツ八ツからカンテラ下げて　坑内下るもネーホンニサ

おまや一番方わしゃ二番方　上り下りでネーホンニサ

逢うばかり　国のため

池野炭坑節が唄われたのもこの頃である。やがて終戦、その后エネルギー革命の波は滔々との炭鉱に押し寄せ、終に昭和三十三年十月開山の止むなきにいたった。

想えば池野鉱山は近代日本の黎明をつげる明治維新に突如出現したが、新たなる日本になると同時に姿を消した。

四塚連山を背後に受けて、廃坑入口附近には草茫々昔日の繁栄を物語るかのように、無心に生い茂っている。

（H）

宗像大社宝物館　宝物を訪ねて

狛犬

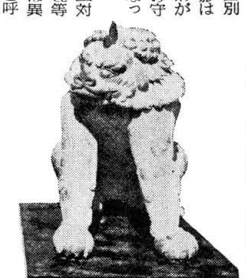
狛犬の歴史は古く、その起源はペルシャやインド地方と考えられ、日本に伝来されて、特異な姿から高麗の犬として狛犬（高麗犬）と呼ばれた。狛犬は、獅子と狛犬とに区別が出来、口を開いている方を獅子とし、口を閉じた方を狛犬とした。平安時代には清涼殿や、天皇、皇后の帳帷の鎮子として調度品に使われ、獅子と狛犬との区別がはっきりとされていた。

やがて獅子と狛犬の区別はなくなり、狛犬として犬の形が主にされ、神社や仏前の守護として置かれる様になった。

当大社宝物館には、二対の狛犬がある。他の神社等に置かれている狛犬とは異り、一名「宗像狛犬」と呼ばれる名作である。

（重文）**石造狛犬一対**

これは宋時代の傑作と伝えられており、微笑をさそう事であろう。狛犬の背中には建仁元年、宗像第三宮の御前へ、藤原支房の奉



納銘はおそらく日本に於て刻まれたものであろう。

（重文）**木造狛犬一対**

これは、鎌倉時代の作品と伝えられている。この狛犬は高麗狛犬（韓国）から渡来品ではなかろうかとも云われている。現在は黒漆りの台に乗せられているが、足が曲っている角度から推察すると、本来の姿は階段の中間に対座して置かれてあったものと考えられる。作品は楠の一大木を刻み、体全体の筋肉の表現から受ける力強さ、面に刻まれた威厳、まさに神前に配した時、他の何物をも寄せ付けない堂々とした姿を備えている。

一方獅子は、獅子舞の獅子として残り、古くは狛犬獅子とが共にあり舞を行って来たが、獅子のみが主となり、狛犬舞は姿を消し、獅子舞として独特の優雅さと、美を加味した獅子となった。

× ×

宗像養鶏場落成式

去る六月八日、宗像町山田の里にこのほど広大な山を崩して養鶏場が作られ、その落成式が盛大に行なわれた。

この宗像地方の中でも山田の里は静閑なところ、そっり立つ当郡一の孔大寺山のふもとにあって養鶏には最適の地であるという。

今度、森口漁業株式会社（森口巌氏）により、資本金三千万円をかけて宗像養鶏場が企画され、ここに一応の目的工事を全部完了する事が出来た。

〝工事計画〟

昭和三十九年九月土地の買収を終る。

同年十二月より土地造成と共に、鶏舎建設に取りかかる。

第一次、第二次、第三次、第四の工程を経て本年六月末日を以って所期の工事を終り完了する。

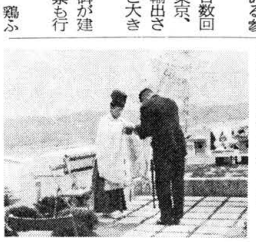
「想えば、去る昭和三十八年、この地方に農業伝習農場が建設され、翌年森口漁業（株）が程近いところに経営多角化の一環として、山地をブルドーザーで馳らし、鶏舎建設の歩を踏み出し、年々増殖してここに大々的に操業を開始するに至った事は、宗像発展の為に喜びに堪えない。宗像は鶏卵の名産地であり、洛陽の市価、いや卵価を昂めていただきたい」ある参列者の挨拶があった。

現在の成鶏は五万羽。毎日数回に亘って出荷が始められ、東京、大阪方面へと大都市に直接輸出されている。ゆくくはもっと大きなものになるという。

養鶏場の展望台には鶏魂碑が建てられ、落成式と共に入魂祭も行われた。

祭典終了の後は、選卵場、鶏ふん乾燥場、育雛舎、成鶏舎等の各舎を見学。これらはすべてオートメ化されて流れ作業となっている。なかでも参列者の目を引いたものは米国製のアカマジックの選卵機であった。

見学の後、直会に移り地元知名士の参列もあってなごやかな一時であった。一同宗像の発展、養鶏場の発展と繁栄を祝して、乾盃の音頭で無事式典を終了した。



宗像大社献詠 俳句作品集（四十三）

津屋崎　久羽　文王
桶ひいて朗突きの一人梅雨の海

〃　田中　哲二
髪梳いて凄華な夜に入る春雷

〃　井浦　良介
カトレアがくらがりに咲き愛の接点

〃　白石百合蔵
母の日の掌にやわらかき鳩の胸

〃　岩見佳代子
薔薇吹く葛藤女の性搾てたし

〃　勝田　光一
万緑の重さに夜のダム放流

〃　安部真佐子
蓆の臺バトミントンの羽根拾う

〃　吉野　享志
漁火や女の位置の確かめられ

〃　浜津　鴻浪
春雷や残り少なく瓶の酒

〃　鶴　賀水
熱さすぎ密のあじさい雨に昏れ

東郷　小野　花居
ひばり野にあさみの土手やそぞろ行く

東郷　小野　淡坡
青葉の深こ梅雨の真盛り

宗像　中野　きみ
植えるもの植えて五月の幸を知る

日立と共に五十年（六）

倉田主税会長の半生記

「僕は会社で戦後四百七十五人目の助米者なんだよ」「へえ、ほんとうですか」「そう」

23港のロビーで、晴れた日本の空を仰ぎながら、彼は見送りの友人にそう語ったのである。

R・C・Aをはじめ、インターナショナル・G・E会社以下提携先数社を助すれた彼は、経営者として、また技術者として大いに得るところがあった。

アメリカからヨーロッパにとんだ夫妻は、イギリス、フランス、ドイツ、イタリー、スエーデン、デンマークを次々に訪問し、十二月の下旬に北極圏経由で帰国した。

この年、外遊にさきだち、四月十日、夫妻は皇太子明仁親王殿下と正田美智子嬢とのご結婚式に召されて参列した。「光栄でございますわ、ほんとうに」信子は、そういって心から感激した。主税も妻のそうした気持と、全く同じ感激を覚えずにいられなかった。

この年十月二十八日付で、主税は藍綬褒章を授与された。

"機械類の国産技術の向上、新鋭機械の製作、関係団体の要職につき、わが国産業の発展に寄与し、公衆の利益を起し、成績顕著の故に"

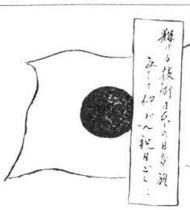
というのが授賞の理由であった。

昭和二十二年春の社長就任以来、主税はひたすらに日立製作所の復興と発展に力をつくしてきたまたま朝鮮動乱をきっかけとする世界情勢の変化と、これにともなう日本の国際的地位の向上ならびに対米関係のいちじるしい緊密化とが、社業発展の一つの契機となったことは事実であろう。しかし、彼を中心として一致団結し、和衷協力それぞれの分野において最善の努力をした数万の役員、従業員のはたらきが、今日の繁栄を招来した最大原因であることは、ここに改めて指摘する迄もない。殊に、最高責任者として運営の大局をにぎり、研究に、製作に、販売に、輸出に、つねに誤らざる指示を与え、いささかのゆるみを見せない主税の功績は、きわめて高く評価されなければならぬ。

日立製作所の戦後発展の歩みを若干の数字によったどってみよう。

まず資本金についてみれば、終戦時において七億円だったのが、二十五年に三億円、二十七年に四四億円、二十九年に六億円、三十一年に百億円と増資をつづけ、三十二年に一五〇億、三十三年に二二五億、三十五年三月に三〇〇億となり、ついに三十六年二月には五〇〇億円に達したのである。受託高、売上高についていえば二十五年以降きわめて順調に進展をつづけ、三十五年九月には受註一、二三二億円、売上げ一、〇四四億円を超えるに到った。

アメリカの経済雑誌"フォーチュン"誌によれば、一九五九年度の日立製作所の売上高は、世界的大工業会社六〇〇社中の第九八位、そのうちアメリカ五〇〇社を除けば二四位にランクされると発表された。一九六〇年にはこの数字は改められ、それぞれ七十位と十七位に躍進したのである。



主税はまた、企業の体質改善につとめ、経営の合理化を推進したのである。即ち、二十五年八月に営業ならびに管理組織の強化と責任体制の確立をはかって本社に本部制をしき、更に二十七年八月には事業本部制を採用したのである。企業経営を近代化するために基本的構造を固めたわけだ。

工場の新設、分工場の設置、研究設備、生産設備の拡充改善など技術革新の時代に応ずる彼の打った手は、きわめて適切であり、且つ強力であった。そのためには、巨費を投じて一向に惜しまなかったのである。

工場新設のほかに彼は、中央研究所、小平記念研究所、超高圧実験室、ポンプ関係水力実験室、機械研究室、気体機研究室、エレベーター研究塔、音響室などを建設したが、そのために投入した金額は驚くべき巨額に達したのである。

研究設備に向けられる経費は、三十五年度上期のみにおいて二十億円を計上した。更に三十六年下期に三十億円に達した。

生産設備に投じた金額は更に莫大であり、三十一年度から三十五年度までに累計は六〇九億円にのぼった。

三十五年の秋、日立製作所は創業五十周年を迎えて数々の記念行事を行なった。

船来品万能の明治期において、よく機械工業の国産化に着眼し、理想実現の第一歩を踏み出してからまさに半世紀である。主税は故人を偲ぶとともに、己れが歩み来った五十年の歳月をふりかえって、感慨そぞろなるものがあったのである。同時に彼は、技術革新の波が、驚くべき速さで進みつゝある今日、次の半世紀を踏み出す第一歩をどこに求むべきかを、真剣に考えたのである。進みに進んで全くやむことのない技術の進歩は、一瞬の怠慢、一刻の油断をも許さず、たちまちに人をして久遠の落伍者に感おとしてしまうのである

「決意を新にして、諸君とともに、更に研鑽これつとめ、もって小平翁をはじめ諸先輩各位の遺業を発展させる覚悟であります」

主税は、謙虚な気持を述べて式典のあいさつとした。

役員、従業員一同が心をこめて感謝状と記念品を贈ったのに対し彼は所懐の和歌一首を添えた国旗を、全員に配って感謝の意をあらわしたのである。

輝ける技術日本の日章旗
立て立て仰がん祝日ごとに

これはまさしく、技術者である彼のようこと、国を愛する国民の一人である彼の願いとを率直にうたっている歌だ。

昭和三十六年九月のある日、暑さの名残りは未だかりひとかたが、日が沈むとさすがに風は涼しく術路樹の葉を鳴らし、秋のたたずまいは道行く人々の旅情をさそうのである。伊東温泉の川端別館に、十人の男が、いや、紳士たちが誰に遠慮もない書生ことばで盛んにしゃべり合っている。談論風発して時局を憂うると思うと、たちまち五十年むかしの思い出話に話題が移り、全く放談会である。その合い間には、てんでんがビールをあおり、酒杯を傾けてすこぶる賑嫌なのだ。還暦を越えたと思われる紳士たちは、そのむかし"森の都"仙台で、同じ高工の機械科で机をならべた級友たちである。話は当然"青春物語"のリバイバルとなった。

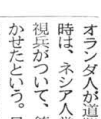
（つづく）

（文責　養父　守）

宗像藪庵先生百話

南方華やかなりし頃

宗像太郎坊



世にも不思議なこと

さらに不思議な光景は、毎日たった一人の日本兵が百人の俘虜を引率して作業場へ歩いていく。こういう光景は外国ではちょっと、見られない。途中で面倒臭くなって、たった一つしかない三八銃を俘虜に担がせて自分は手ぶらで歩いている。大胆といおうか馬鹿といおうか、外国人では考えられない光景である。もっとも俘虜にとって、逃亡は死を意味していたのである。なぜなら現地人はオランダ人に非常な敵愾心を持っていた。オランダ人は日本兵の側にいる間だけ生命を保証されていたのである。特にこの辺りは危険な場所である。なぜなら、北のタゲコンから逃げて南下して来た蘭軍がブランケシャランにさしかかった時、この辺りの住民は日本軍が来たかと、早合点して日の丸の旗を振った。人道を無視した自動小銃の一斉射撃を浴びて、数百人のネシア人が死傷した。この恨みを現地人達は忘れていないからであるベルチェルの話によると、昔、オランダ人が道路補修作業をする時は、ネシア人労務者と同数の監視兵がついて、銃をつきつけて働かせたという。日本人は奚に人を使うことがうまいというが、日本人の精神的面はわからないのだろう。

また、彼は話を続けて、アチエ州では、よく暴動が起ったが、容疑者を捕えて訊問すると「サヤ・ティダ・タウ、わたしは知らない」という。オランダではこういわれればもうこれ以上どうすることも出来ない。釈放である。そこにいくと日本人は、いおうが、いうまいが、こいつがやったと思ったら叩き殺して了う。あのやり方は非常にいいといった。

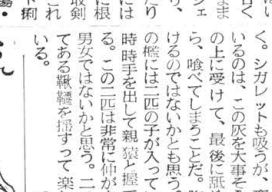
世にも不思議な話はさらに変ってマレー作戦時のことである。俘虜になって何千という英軍の印度兵が、北に向い進撃していたのであるが、今度は逆に、二、三人の小さい日本兵に引率されて南へ南へと行進を続けている。これはまことに不思議な光景で英人には何ようても理解出来なかった。今まで射ち合っていた相手と大して話も交わさずに意気投合して、逆にシンガポールへ進撃しているさまは、まさに世紀の不思議の一つであった。

ジャンブー・ビジー

ブランケシャランとタゲコンの間の道路作業で一番困ったのがアメーバ赤痢の多発である。敵襲水艦のため日本からエメチン注が来ない。なんとか、下痢だけでも止めてやりたいと、いろいろ薬草を研究した。すべりひゆや、現地名、チチラムという梅檀科の植物を使ってみたが、私はこに、ジャンブー・ビジ（Jambu biji）を紹介しておく。これは学名バンジロウ（Psidium guajava）で原産は、熱帯アメリカであるが、台湾仏印・タイ・マレー・スマトラ等に産する。三米ぐらいの小木であるが、無花果の若い実のようなものが実のる。未熟の時は酸っぱいが熟れると甘くなる。生のままで喰べたり、ジェリーにしたり、砂糖煮にしたりする。成書には樹皮ことに根皮は極めて取剣性に富み、これを煎じて、下痢止めや、黄疸・創傷の洗滌液に用うるとあるが、わたしは、オランダ兵の詳しい者が教えてくれたように、これの Young leave and young fruits を取って来て、飯盒で煎じて飲ませた。参考までに、現地人の死ぬのはマラリアよりアメーバ赤痢の方が多い。アーメーバ赤痢から肝臓癌を犯して死ぬのである。

オランウータン

オランOrangは人、ウータン意味だ。哺乳綱、霊長目、ヒトニザル科の、類人猿である。これが"森の人"という自然に模倣する処は、スマトラとボルネオだけである。オランウータンにもいろいろ種類があるようである。もっとも、人間に近いから人相はいろいろとかわっているようである。私がはじめて見たところは、メダンからベラワン港に行く途中の町の動物園である。ここに実に大きなのが一匹、広い金網の中に入っている。約能の発達もよく、人が来ると、小さい窓穴よりコップを差し出す。お茶やオレンジジュースを入れてやると飲んでコップは、ちゃんと柳におが熟れると甘くなる。生のままで喰べたり、ジェリーにしたり、砂糖煮にしたりする。成書には樹皮ことに根皮は極めて取剣性に富み、これを煎じて、下痢止めや、黄疸・創傷の洗滌液に用うるとあるが、わたしは、オランダ兵の詳しい者が教えてくれたように、これの Young leave and young fruits を取って来て、飯盒で煎じて飲ませた。参考までに、現地人の死ぬのはマラリアよりアメーバ赤痢の方が多い。アーメーバ赤痢から肝臓癌を犯して死ぬのである。



Utanは森で、"森の人"という

ボルネオ産は毛深く、顔が猿に近いようである。私がはじめて見たところは、メダンからベラワン港に行く途中の町の動物園である。ここに実に大きなのが一匹、広い金網の中に入っている。約能の発達もよく、人が来ると、小さい窓穴よりコップを差し出す。お茶やオレンジジュースを入れてやると飲んでコップは、ちゃんと柳におが熟れると甘くなる。生のままで喰べたり、ジェリーにしたり、砂糖煮にしたりする。成書には樹皮ことに根皮は極めて取剣性に富み、これを煎じて、下痢止めや、黄疸・創傷の洗滌液に用うるとあるが、わたしは、オランダ兵の詳しい者が教えてくれたように、これの Young leave and young fruits を取って来て、飯盒で煎じて飲ませた。参考までに、現地人の死ぬのはマラリアよりアメーバ赤痢の方が多い。アーメーバ赤痢から肝臓癌を犯して死ぬのである。

つづく

あなたもラリーを！

③ ギミック・ラリー

娯楽的な要素の強いもので、やり方は自由に考え出すことができます。レライアビリティー・ランにこのやり方を加味すると一層楽しいものになります。主なものを上げると次の通りです。

＝買物ラリー＝

たとえば「百円で買えるたべ物で一番重いもの」といった様に出題し、ゴールしたとき最も重い順から採点して総合成績に加味するやり方もあり、また週刊誌一部、〇〇線の切符、郵便はがきなどといろいろな買物を指示して、一つでも買物を忘れれば失格とするやり方もあります。買物をしている時間だけラリーのペースが狂ってくるので、競技を面白くします。

＝がらくた集＝

（スカベンジャ・ハント）

各チェックポイントでなかなか見つからないようなものを次のポイントまでに集めるように指示するやり方である。

その日が日曜なら金曜の牛乳びんの蓋、古手袋、やぶれ靴下などやたらに手に入らないものを選びます。思わずふき出すようなものを指示するのが主催者の腕です。

＝ポーカー・ラリー＝

各チェックポイントに入るとランプを一枚ずつひかせ、ゴールしたときその組合わせでポーカーの勝負をさせるやり方です。もっと簡単なものに各チェック・ポイントでサイコロをふって行き、その成績を総合点数に加味するやり方もあります。

＝ヒストリカル・ラリー＝

チェック・ポイントのある場所のヒントを与えるやり方です。たとえば目指八と書いてあれば、次のチェック・ポイントは鈴ケ森だなとわかるし、堀部安兵衛仇討とあれば高田の馬場と想像するといった具合です。やさしそうでちょっとまどわされそうなヒントを与えるとレースは面白くなります。

＝けちんぼ・ラリー＝

（エコ・ラン）

きめられたコースを最も少ガソリンを消費しないで到着する方法です。このため参加者は重量を気にして食事もせず、真夏に窓をしめきって風の抵抗を防ぎ、ホイール・キャップやアクセサリー等少しでも重いものは全部取除いて走るなど、難業苦業を重ねます。毎年ヒルマンの行なっている東京・大阪間の女性ドライバーによるエコランは有名ですし、今年はオリンピックの聖火コースを選んで全国的なエコランが行なわれたことは既にご承知の通りです。

健全な集団競技、ラリー

ラリーはいろいろと説明しましたように、きわめて健全な自動車競技です。いたずらにスピードを出して乱暴な運転をしていてはラリーには勝てません。大規模なラリーになればなるほどこの傾向はいっきりしており、周到な準備、綿密な車輌点検、こまかい注意力、正確な計算、ドライバーとナビゲーターの完全なチームワーク、心身の忍耐力、変化に即応する機知、交通法規の遵守、ドライバーシップそしてすぐれた運動技術のすべてが必要であり、また、これを涵養します。

我楽苦多告知板

（二面よりつづく）

深田　中野　節子
風のまゝ波立ち恋ゆる小倉城の濠

田　中　哲二
面かすめてヒナつばめ飛ぶ

大　井　安部　重郎
行く春や読み終りたる絹の道遠き

大　井　安部　静子
昔の旅を憶へり

大　井　安部　静子
厨までみかんの花の匂ひ来て朝な朝なに水仕楽しき

大　井　吉田　杏子
今宵降る雨は悲りて紫の椿の花

大　井　吉田　和子
友訪へば明き日差しに芥子の花優

南　郷　中村　幸
鳴き交す小鳥の声に見上げたる山椿は花の真盛りにして

田　島　白雲　山人
六十年剃のみちをふみ越えて大過なしとは言へぬきすあと

吉　武　原田　松代
青葉の山バスは登りつ見えかくれ見えてうつくし若戸大橋

吉　武　原田　リノ
細き雨降りつゝ行手の外輪山ひとところ明かるく陽の光さす

宮　田　北原　君子
麦畑をならしつつ行く幼等のみえかくれして田圃道走る

○新任職員の歓迎会。一同着席。目の前のビールのセンを各自が抜く。コップにビールを注ぐ。ここで一同コップを上げて

「ヤアーいただきます」

あとは鮨をつまみながら、ワイワイ、ガヤガヤ。型通りの面白くない会長挨拶とか。本人のお義理の挨拶等、一切省略。あの形式が一番サッパリして良かったとは参者のもっぽらの噂。

○老先生早起きの為、朝刊は題字下から三行広告まで熱心に御愛読したまたま

「女優吉永小百合が博多湾上でロケの際船酔いの為撮影不能。関係者がつわりの薬を小百合嬢に飲ませて無事完了云々」の記事に接して、翌日から船酔可能者を捜索する事しきり。

船酔者に妙薬を授ける宣伝に最初の人体実験の恩恵？誰れが浴するかと只今興味深々と言うところ。

○新任職員の歓迎会。一同着席。目の前のビールのセンを各自が抜く。コップにビールを注ぐ。ここで一同コップを上げて

「ヤアーいただきます」

あとは鮨をつまみながら、ワイワイ、ガヤガヤ。型通りの面白くない会長挨拶とか。本人のお義理の挨拶等、一切省略。あの形式が一番サッパリして良かったとは参者のもっぽらの噂。

○老先生早起きの為、朝刊は題字下から三行広告まで熱心に御愛読したまたま

「女優吉永小百合が博多湾上でロケの際船酔いの為撮影不能。関係者がつわりの薬を小百合嬢に飲ませて無事完了云々」の記事に接して、翌日から船酔可能者を捜索する事しきり。

船酔者に妙薬を授ける宣伝に最初の人体実験の恩恵？誰れが浴するかと只今興味深々と言うところ。

つづく